

# 枚中だより

東大阪市立枚岡中学校

No. 5 令和元年8月30日発行

## 3年生チャレンジテストの結果より

### ～ 枚中生の得意な問題と不得意な問題の分析 ～

校長 田中裕章

夏休みが終わり、校内にたくさんの元気な声が戻ってきました。毎年、8月の下旬には、全国学力・学習状況調査、3年生チャレンジテストの結果が公表され、分析結果が新聞に載ったりします。今年度のチャレンジテストは6月19日に実施され、先日、府下全域の結果とともに本校の結果も送られてきました。3年生には、個別の結果が8月中には返却されます。今回は、府全体の正答率と枚中の正答率との間に差が顕著だった問題の紹介をします。

### 国語

漢字の読みでは、「詳細」は、よく読めていたのに、「伴奏」は20%近く下回ってしまいました。漢字の書き取りでも「植樹」は、素晴らしい正答率なのに「浴った」は、とても低い正答率でした。このように漢字の問題では、直前に学習したり演習で出題されたものかどうかで、正答率は大きく変わるようです。

「敬語の働きを理解する問題」や「心情が相手に効果的に伝わるように描写を工夫して書く問題」、「文章全体と部分との関係を考え内容を理解する問題」などはよくできていたのに対し、「文脈を理解し適切な語句を考える」や「徒然草」が漢文、随筆、物語、和歌のどれかを選ぶ問題などは正答率に残念な差ができてしまいました。

### 社会

「空海」について説明した文を選んだり、後鳥羽上皇が起こした乱を答える問題、さらに「加工貿易」について理解しているかを問う問題などは極めて高い正答率をあげることができましたが、「等高線を見て地形を読み取り扇状地という地形の名前を答える問題」や「平氏を経済的に支えたものが荘園と日宋貿易の利益であることを資料から読み取り説明する問題」などでは、府全体に比べてかなり低い正答率にとどまりました。

やはり、数多くの問題にあたり、さまざまな発問のされ方に対応できるように幅広い知識を身につけ、「問題慣れ」しておく必要があると考えられます。



## 数学

1 番の問題として必ず出される「式の計算」は4問ありましたが、4問とも府下の平均正答率にわずかに届きませんでした。より慎重に丁寧に問題にあたることが求められます。

図形の問題では、「1 回転させると円錐ができる平面図形を選ぶ問題」はよくできており、円錐が回転体としてどのように構成されているかは理解されているのに、「直方体から三角錐を切り取った立体の見取り図から投影図を選ぶ問題」では見取図、投影図から空間図形を読み取ることは、不得手となっています。

度数分布表から相対度数を求める問題では、低い正答率になっていますが、前学年までに習ったはずの語句の整理が不十分であったことが原因と考えられます。また与えられたグラフ（時間と距離のグラフ）から事象に即した解釈をし読み取ったり、事象を数学的に解釈しグラフと対応させて読み取るといった問題では、府平均をゆうに上回る正答率をあげることができています。

全体としては、1 番の計算問題、2 番の連立方程式など得点源とされる問題での取りこぼしが惜しまれます。

## 理科

理科に関しては、府全体の正答率を大きく下回るものはほとんどなく、強いてあげるとすれば、「蒸留の問題で温度変化をグラフから読み取ること」や「質量パーセント濃度の計算」、「水の電気分解」などが不得意で理解が深まっていないという傾向がありました。

1 番のシダ植物（イヌワラビ）の問題では、「植物のなかま分け」から「ルーペの使い方」まで小問すべてで府の正答率を上回りました。また、セキツイ動物の特徴や進化についてなども生物分野は全般的によくできていました。

また、地学分野では今回「桜島を題材にした火山の問題」「天気図や雲の画像を題材とした問題」が出題されていましたがこちらも問題によっては正答率が 20%も上回る問題もあり、よくできていました。

## 英語

大問が9問ある中で、1～3 がリスニング問題で、そのほとんどが四者択一の問題でした。会話を聞き、内容を把握することはできているのに、応答文を適切に答えることに課題があります。

文章中の（ ）に入る語句を選ぶ問題では、last week という語句があるのに過去形を選べなかったり、文の意味から between A and B の between を入れることができなかったりしたものが府の正答率を大きく下回りました。また、プレゼンテーションの発表原稿とグラフを関連付けて答える問題も不得手とする生徒が多い反面、地図を見て会話の内容を理解する問題はよくできていました。 (裏面へ)

以上、各問題の正答率から枚中生の特徴を一面的であるかも知れませんが分析しました。また、チャレンジテストの際に各教科のアンケートとして、「授業の内容はよくわかるか」「学習をする際に工夫をしたり計画を立てたりしているか」という質問がありました。肯定的な回答が多い教科が必ずしも点数が高いということではありませんでした。

チャレンジテストの結果は、8月中には返却されますがそこには各教科100点満点の得点と領域別の得点、各問の正誤、府全体の正答率などが詳しく示されていて、自分の学力の優れている領域や弱い領域を知るために役立てることができるように整理されています。

正答率は、問題の難易度を知る一つの指標ではありますが、正答率が低いからといって、自分も間違ってもいいというものではありません。多くの人が正解している問題で取りこぼさないように注意するのに役立てるものと考えてください。

とにかく、テストの結果の返却では、得点に対して一喜一憂することよりも、同じ間違いをしないように、次に生かすことが大切です。

結果がプリントされたシートとともに手元にある問題用紙を出してきて、しっかり自分なりの分析もしてほしいと願っています。



## 枚中トピックス : 頑張っています、枚中生

### ○ 学習ノート (1学期)

1年生 2名  
3年生 3名

### ○ トランポリン

7月 7日

< 第6回全日本クラブ・ダブルミニトランポリン競技年齢別選手権大会 >  
クラブ 13-14才男子 第1位

< 全日本トランポリン競技ジュニア選手権大会 >  
個人 13-15歳女子 第3位  
団体 13-15歳女子 第2位

### ○ 硬式テニス

< 大阪中学校テニス大会 >

7月25日

男子シングルの部 第2位

### ○ 準硬式野球部

< 大阪中学校優勝野球大会 >

7月25日

山本地区代表

枚岡中学校

< 優秀選手賞 >

2名

### ○ ラグビー部

< ジャンボリーググループ >

7月28日

優秀賞

### ○ ソフトテニス部

< 東大阪市民選手権大会 >

7月29日

第3位

### ○ ピアノ

< 西日本EF級1 地区本選 >

8月 6日

ソロ部門 E級 入賞

< 西日本EF級2 地区本選 >

8月 8日

ソロ部門 E級 優秀賞